

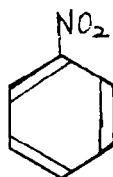
# ニトロベンゼンの濃縮度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和50年10月6日～昭和51年1月10日

2. 試料名 ニトロベンゼン (試料No K-66)

分子式  $C_6H_5NO_2$

構造式



## 3. 試験方法及び条件

環保業第5号  
薬発第615号 魚介類の体内における化学物質の濃縮度試験による  
49基局第392号

## 3.1 試験装置及び機器

水系環境調節装置 流水式  
ガスクロマトグラフ 検出器 ECD

## 3.2 試験条件

### 3.2.1 T L m 試験

#### (a) 試験魚

ヒメダカ平均体重0.3g 塩化第二水銀検定合格魚 ※  
※田端健二 用水と廃水14, 1297~1303(1972)

#### (b) 分散剤及び分散法

分散剤 硬化ヒマシ油 (HCO-100)  
分散法 供試物質10gと分散剤10gを精秤し、温水を加え超音波照射を20分行い、全量11として10000ppmの原液を調製した。

#### (c) 試験温度

25±2℃

#### (d) 結果

48時間 T L m 値 125 ppm

## 3.2.2 濃縮度試験

#### (a) 試験魚

コイ, 平均体重 約30g  
平均体長 約10cm

#### (b) 試験温度

25±2℃

#### (c) 試験濃度

設定値

48時間 T L m 値 125ppm の  $\frac{1}{1000}$ ,  $\frac{1}{10000}$  を各濃度

区とした。

第1濃度区  $125\text{ppm} \times \frac{1}{1000} = 125\text{ppb}$

第2濃度区  $125\text{ppm} \times \frac{1}{10000} = 12.5\text{ppb}$

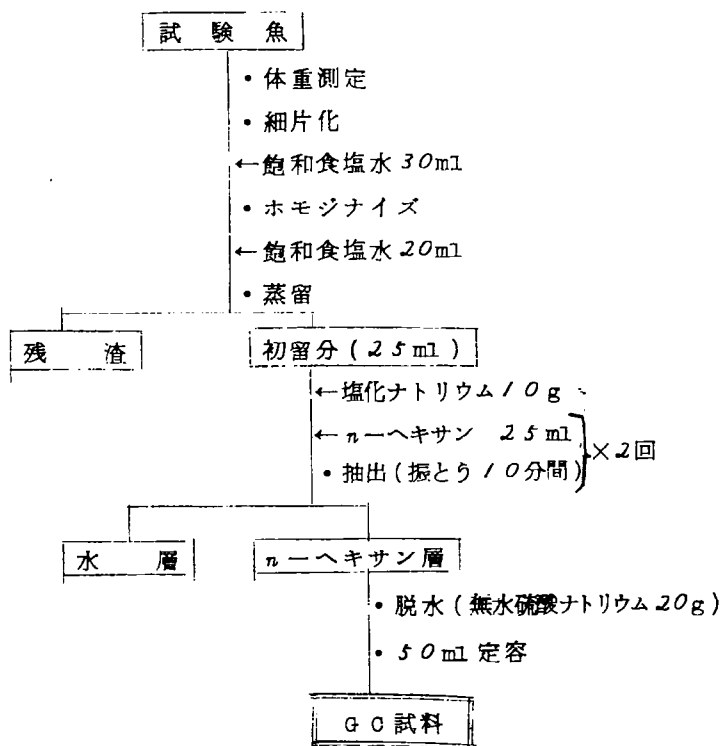
	試料濃度 ppb	分散剤濃度 ppb
第1濃度区	125	125
第2濃度区	12.5	12.5

### 実測値

表-1 濃縮倍率を求めるための平均濃度 (ppb)

	2 W	3 W	4 W	6 W
第1濃度区	97.5	95.2	95.3	101.4
第2濃度区	107.9	11.24	11.80	121.8

### 3.2.3 分析試料の前処理



### 3.2.4 分析条件

ガスクロマトグラフ (GC) 検出器 ECD

キャリアガス  $N_2$

充てん剤 3% OV-17/ガスクロム Q

ガラスカラム 2mm $\phi$  × 2m

カラム温度 115℃

### 4 試験結果

表-2 濃縮倍率

	2 W	3 W	4 W	6 W	付 図	付 表
第1濃度区	4.0 4.4	2.0 3.4	3.1 3.4	2.9 4.8	4.5	3.4, 6
第2濃度区	6.7 7.7	3.4 4.9	2.2 3.4	3.1 1.6	4.5	3.5, 6

### 5 その他

操作上特に問題点はなかった。

以 上